

清水町男女共同参画基本計画を 策定する考えは

町長 町全体で意識の醸成を図り、
計画の策定も検討していく



川上 均 議員

町長

本町では、各種審議会における女性委員の積極的な任用や町職員のうち女性職員の割合増加、女性が働きやすい職場環境

問

町では4月に「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」を改定したが、コロナ禍により改めて女性の雇用、賃金を始めとする男女間格差が浮き彫りになった。そこで男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮するための指針となる「清水町男女共同参画基本計画」策定の考えを伺う。

問

高齢者世帯では年々除排雪が困難になる状況の中で、シルバー人材センターの担い手不足による福祉除雪サービスも限界があり、除排雪は切実な問題となっている。そこで、町内会等の地域住民の協力による除排雪に対するパートナー制度創設による小

除排雪の町内会等によるサポート制度の創設は

町長 補助制度の創設は当面考えていない

型除雪機械の購入・借上補助制度、町内会排雪時の排雪費用補助制度、滑り止め焼砂配布による交差点事故防止の取り組みの実施について考えを伺う。

町長

高齢者世帯には高齢者等在宅福祉サービス事業



地域のボランティアが除排雪した歩道

体制で対応していく。

ドッグラン設置における 検討課題は

町長 環境美化について可能な限り
配慮するよう検討する



鈴木 孝寿 議員

問

清水公園敷地内に設置されたドッグランについて、利用者が安心して交流できる環境を作るべきと考えるが、次年度以降の運営における検討課題及び対外的なアピール等の現時点の考えを伺う。

町長

施設の機能面の要望について、愛犬とくつろぐために椅子やテーブルがほしいという意見があり、また、日差しが強い季節には日よけの設置も必要と考えている。これらについては、今後検討をしていく。



清水公園内に完成したドッグラン

一方、管理運営面の問

問

9月定例において議会に説明された計画の内容と比べて、実際に完成したドッグランの設置面積は約20%縮小されている。

計画より縮小した施工について、なぜこうなったのか、今後の対応について町民に対してしっかりと説明してほしいがいか

町長

計画より縮小した部分については、確認をして、結果についてはお知らせをしたい。

将来のデジタル化への 取り組みは

町長 費用対効果が得られるよう
進める

問

本町では農村地域への光回線の設置を現在行っており、また、商店街等ではキャッシュレス決済を推進する中で、アナログからデジタル化への移行期を本格的に迎えていると思われる。この流れの中で十勝管内の他町村の中にはスーパーシテイ型国家戦略特別区域に応募する自治体もあり、今後ますますデジタル化が加速すると考えられる。清水町の各種サービスを含め将来の具体的なデジタル化への取り組みと、第6期清水町総合計画に基づいた清水町の将来像を、町民が想像しやすく視覚化されたアクションプランを策定する必要があらうと思われるが、考えを伺う。

町長

本町においてはデジタル化が進んでいない状況ではあるが、今後国を挙げての取り組みが加速されていくので、住民と町がお互いに費用対効果が得られるようデジタル化を進めていく。

また、行政サービスのオンライン化を進めるうえで不可欠となるマイナンバーカードの普及に向けて取り組んでいく。行政のデジタル化については、国を挙げて進められていくことから、デジタル化に対応する人材の養成も含め計画的に進めていかなければならぬものと考えており、将来プランの設定についても今後検討していきたい。

スクールバス委託料の適正化への対応は

教育長 適正な積算の上で契約している

問

スクールバスは現在完全委託化されているが、この間の委託料の適正化への対応及び運転手の高齢化に対する安全確保、コロナ禍による運営課題等、今後の在り方についての考えを伺う。

教育長

委託料は事業者からの見積りを精査し、適正な積算の上で契約している。運転業務担当者の平均年齢は62歳だが、年齢が高いことがそのまま運転技術や安全運転遂行に支障があるわけではない。委託業者に対して、運転技術が一定水準の適切な

人材の雇用と研修等の実施による安全運転の順守をお願いしている。コロナ禍の運行については、座席等の消毒、密にならないような乗車への指導などを、委託業者を通じて運転手にお願いしている。